

# 個性溢れるスピーチ

## 岩日タイムズ

発行者 日本大学  
岩瀬 高等学校  
新聞部 祈 彦哉  
猿山 佐藤 彦哉



### 練習の成果 競い合う

〜第19回英語スピーチコンテスト〜

2月23日、本校4階音楽室で、第19回校内英語スピーチコンテストが開催され、今年度は12名の生徒がエントリーしました。

それぞれ出場者がコンテストに向けて一つひとつの単語の発音やジェスチャーなどの練習を重ね、先生からアドバイスをもらいながら試行錯誤を繰り返して、日々練習に励んできました。出場者は各々の個性溢れるスピーチを披露しました。

### 審査員のエリザベート先生と出場者のみなさん

優勝 2年6組 大吉優翔さん  
「とても緊張しましたが、ジェスチャーなどしっかりできたので良かったです。この喜びを、今まで練習に活かして頑張りたいです。」  
来年度、スピーチコンテスト



### ジェスチャーを交え発表する金澤さん

「本番でのスピーチがトップバッターだったのですね、足が震えるほど緊張しました。それでも発音やジェスチャーなど頑張りました。」

「去年は入賞できなかったのが今年に入賞できてよかったです。」  
準優勝 2年6組 鷲谷琴美さん  
「去年は入賞できなかったのが今年に入賞できてよかったです。」



### 優勝した大吉さん

でも、もっと練習していたら優勝できたかもしれないので、嬉しさ半分、悔しさ半端です。」

3位 1年5組 上野沙耶さん  
「本番も楽しくできました。練習の時にはうまくできていなかったのですが、3位という結果に思わずびっくりしました。結果に満足していません。」  
4位 2年6組 齋藤花純さん

今回、私はスピーチを聞いてみて、人前に出て、堂々ときれいな発音でスピーチをしているコンテスト参加者のみなさんはとてもすごいです。内容が少ししか分かりませんが、スピーチに懸ける思いを強く感じました。  
(猿山)

### 編集後記

私は、スピーチコンテストの取材をしていく中で、出場者のみなさんの、スピーコンに懸ける意欲や熱意がとても感じられました。それぞれ忙しい中で、放課後や休み時間などの空いた時間を有効に使ってスピーチを完成させていました。いかに相手に自分の伝えたいことを伝えるようにするか、放課後も遅くまで頑張っている姿が見受けられました。自分も何かに一生懸命になれる人間になれるように日々精進していきます。  
(佐藤)